

# 平成21年度大学院入学者のインターンシップ科目に関するアンケート結果

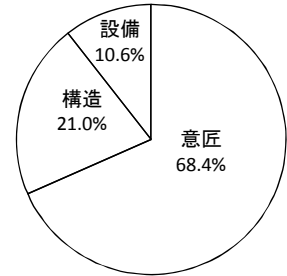
(財)建築技術教育普及センター  
大学院実務経験確認審査委員会

## 1. アンケートの回答率

対象課程		回答課程	割合
大学院課程数		119	46.2%
専門領域別	意匠	117	46.2%
	構造	68	50.0%
	設備	49	49.0%

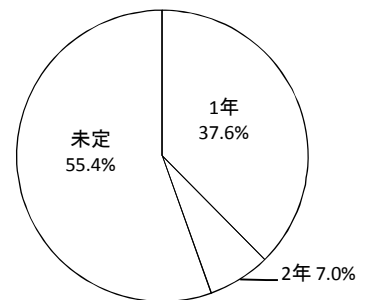
## 2. 専門領域別院生数

専門領域	人数	割合
意匠	815	68.4%
構造	251	21.0%
設備	126	10.6%
計	1,192	100.0%



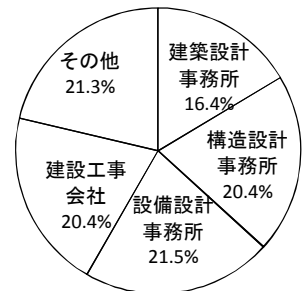
## 3. 希望実務経験年数別・専門領域別院生数

希望年数	意匠	構造	設備	計	割合
1年	346	65	37	448	37.6%
2年	76	7	0	83	7.0%
未定	393	179	89	661	55.4%
計	815	251	126	1,192	100.0%



## 4. インターンシップ受入れ先数(延べ箇所数)

受入れ先	箇所	割合
建築設計事務所	70	16.4%
構造設計事務所	87	20.4%
設備設計事務所	92	21.5%
建設工事会社(設備工事会社を含む)	87	20.4%
その他(行政、確認検査機関等)	91	21.3%
計	427	100.0%

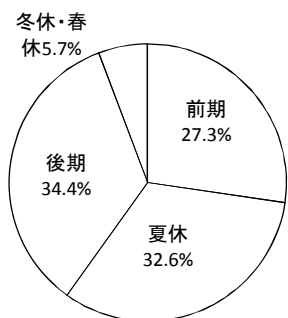


## 5. 学内インターンシップの指導教官数(延べ人数)

指導教官数	回答課程	1課程当たり
82	55	1.5

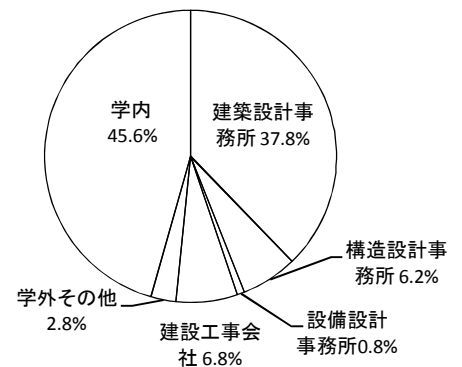
## 6. インターンシップ科目の履修時期別院生数(延べ人数)

履修時期	意匠	構造	設備	計	割合
前期(通期)	247	14	1	262	27.3%
夏休	236	52	25	313	32.6%
後期(通期)	289	27	14	330	34.4%
冬休・春休	48	6	1	55	5.7%
計	820	99	41	960	100.0%



## 7. インターンシップ科目の受入れ先院生数(延べ人数)

受入れ先	意匠	構造	設備	計	割合
建築設計事務所	336	12	15	363	37.8%
構造設計事務所	1	58	0	59	6.2%
設備設計事務所	0	0	8	8	0.8%
建設工事会社	38	14	13	65	6.8%
学外その他	19	7	1	27	2.8%
学内	426	8	4	438	45.6%
計	820	99	41	960	100.0%



## 8. インターンシップの実施に当たっての問題点、課題、ご意見等

意見等	課程	割合
記入あり	18	32.7%
記入なし	37	67.3%
計	55	100.0%

<主なご意見等（要旨）>

○インターンシップの実施について

- ・学内インターンシップとして認められた某科目は、実務に近い建築企画から始まって具体的な作品（建築図面、模型制作等）を4～5名のチームで行っているが、院生及び指導教官の負担が大きいこと、他の講義科目や研究室の活動（プロジェクト、調査研究等）と重複しクレームが多く寄せられたことなどから運営方法の改善が求められている。しかしながら、院生からは良い経験となったという肯定的な意見が多く、一定の成果があったと自認している。なお、学外のインターンシップに誰一人参加しなかったのは、短期間に参加してもあまり成果が得られないという判断が院生間にあったためと思われる。
- ・教育する側からはインターンシップを有効に使うことで教育の幅を広げることができた。学生にとっては実務と研究の関係が明確になり今後の研究方向を自主的に決めることに寄与しているように思われる。
- ・実務経験年数2年を希望する院生は、夏休み、冬休みもほとんどなく、気の毒なほど苦勞している。
- ・受験資格の実務経験に建設・設計系の会社等における実務訓練を重視する現行のやり方は偏っている。

○インターンシップの受入れ先等について

- ・インターンシップについての理解が得られない場合があり、受け入れる会社が少なくて苦勞している。
- ・大手あるいは主要な建築士事務所、建設会社において、インターンシップを引き受けてくれるケースが少ない。
- ・受入れ先の確保のために業界の理解と協力が必要である。教員の個人的な紹介で受入先を探すには限界がある。
- ・研修生が多くなると、事務処理量が結構あり、大学側の事務体制も追いつかなくなる可能性がある。
- ・インターンシップに参加するに当たり、提出書類が煩雑なため、院生が理解しやすい手続きに改善を図っていきたい。

○その他

- ・次年度のシラバスや担当教員の確定が前年度末の2月前後であることから、大学院における実務経験の確認申請の審査の時期を調整してほしい。

平成21年度大学院入学者用インターンシップ科目に関する調査票

Q1. 平成21年度入学の院生数等について、お伺いします。

貴大学院課程の全院生数		名
専門領域:意匠の院生数		名
実務1年希望者数		名
実務2年希望者数		名
専門領域:構造の院生数		名
実務1年希望者数		名
実務2年希望者数		名
専門領域:設備の院生数		名
実務1年希望者数		名
実務2年希望者数		名

Q2. 平成21年度中に実施した貴課程全体(意匠・構造・設備の合計)における学外インターンシップの受入れ先数及び学内インターンシップの指導教官数について、お伺いします。  
(1つの事務所等が複数回受け入れる場合においても、1箇所とカウントしてください。また、1名の指導教官が複数科目を受け持つ場合においても、1名とカウントしてください。)

建築設計事務所		箇所
構造設計事務所		箇所
設備設計事務所		箇所
建設工事会社(設備工事会社を含む)		箇所
その他(行政、確認検査機関等)		箇所
計		0 箇所

Q3. 平成21年度中に実施したインターンシップについて、専門領域別・学外学内別・科目別・受入れ先種別・時期別の「受講者数」をご記入ください。なお、受入れ先種別の設備工事会社は「建設工事会社」に含め、行政、確認検査機関等は「その他」としてください。

専門領域	学外・学内	科目名	単位数	受入れ先種別	1年次の受講者数(実績)			
					前期(通期)	夏休	後期(通期)	冬休・春休
意匠	学外			建築設計事務所				
				構造設計事務所				
				設備設計事務所				
				建設工事会社				
				学外その他				
				学内				
				小計	0	0	0	0
構造	学外			建築設計事務所				
				構造設計事務所				
				設備設計事務所				
				建設工事会社				
				学外その他				
				学内				
				小計	0	0	0	0
設備	学外			建築設計事務所				
				構造設計事務所				
				設備設計事務所				
				建設工事会社				
				学外その他				
				学内				
				小計	0	0	0	0
意匠	学内			建築設計事務所				
				構造設計事務所				
				設備設計事務所				
				建設工事会社				
				学外その他				
				学内				
				小計	0	0	0	0
構造	学内			建築設計事務所				
				構造設計事務所				
				設備設計事務所				
				建設工事会社				
				学外その他				
				学内				
				小計	0	0	0	0
設備	学内			建築設計事務所				
				構造設計事務所				
				設備設計事務所				
				建設工事会社				
				学外その他				
				学内				
				小計	0	0	0	0

Q4. インターンシップの実施に当たっての問題点、課題、ご意見等がありましたらご記入ください。

ご意見等	
------	--